

2020（令和2年）年度事業報告

杉並区立高井戸保育園

（指定管理者：社会福祉法人 東京家庭学校）

まえがき

2020年度は、緊急事態宣言の発令と共に始まりましたが、保育園開設の基本方針である、すべての人々の幸いにつながる「愛の精神」を基に、愛を持って保育実践に努めることを確認し、スタートしました。

区内に、19園が新設開園し、1,000名以上の定員枠が増えました。国を挙げての目標である「待機児童ゼロ」を杉並区は2年連続で解消し、保護者にとっては、自分のニーズに合った園選びができる環境となりましたが、保育園では、人材確保の困難さが際立つ年でした。

4月7日の緊急事態宣言発令から5月末の宣言解除期間は、マスクやアルコール、体温計、トイレットペーパー等の衛生資材の確保が困難な中、感染リスクを最小限に留められるよう、職員を3グループに分けて、医療、金融、サービス業従事者等のお子さまの受け入れを行い、業務を継続しました。6月は登園自粛の要請があり、新年度のスタートは実質上7月1日でした。保育園での行事や活動に様々な影響が出ましたが、感染症の状況を見ながら、どうすれば行事や活動ができるかを考え、感染症対策を行った上で、日程の延期や、形態の変更を行い、新しい企画で子どもたちを中心に進めたものもあり、影響を最小限に留める様に努力しました。

また、2020年度は第三者評価機関による審査の受審があり、利用者アンケートの自由回答の中に、「日本では最高レベルの保育園だと思う。モデルケースとして他の園も見習うべき。優良園として表彰してほしい。」などの記述があり、職員一同元気づけられました。

2020年度の事業計画の柱であった、キャリアアップ制度を活用した中堅層の人材育成は、軒並み、研修が中止になったことで、進捗状況は芳しくありませんでした。また、法人内の保育園でも、感染症拡大防止のため、一同に集まる研修は見合わせました。もう一つの柱の地域交流は、世代間交流、中学生の職場体験、子幼保小交流は介護施設や小中学校側の感染症対策もあり、実施出来ませんでした。

年度の後半になると、衛生資材が少しずつ確保できるようになり、次の感染症拡大に備えて備蓄を行いました。また、リモートの活用を試行錯誤しながら、研修に参加し、五園間の会議も行いました。2020年度は新型コロナウイルス感染症による継続的な災害下にあると認識した年でした。

1 児童処遇

(1) クラス編成 1年を通して各年齢別に6グループで保育を行いました。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定数	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95
入所	95	95	95	95	95	96	96	96	96	96	96	96

定数 在籍

0歳児 つくし組 11名 (11名)

1歳児 たんぼぼ組 14名 (14名)

2歳児	もも組	16名	(16名)
3歳児	ちゅうりっぷ組	18名	(18名)
4歳児	すみれ組	18名	(19名)
5歳児	ひまわり組	18名	(18名)
合計		95名	96名(3月末)

(2) 健康管理

園児の定期健康診断は、0・1・2歳児組は月1回、3・4・5歳児組は春と秋の年2回、園医に聴診・触診・視診等で循環器・呼吸器・皮膚・骨格・栄養状態・成長全般について診察をして頂き、また園医には、保護者からの相談や担任からの質問・相談にも答えて頂きました。

今年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、杉並区ではプール遊び活動が中止となり、当園でも杉並区に準じました。耳鼻科健診、眼科健診(3・4・5歳児組が受け)は11月、歯科健診は10月に全園児が受けました。歯科衛生士による歯磨き指導は10月に4・5歳児組が受けました。子どもの健康や病気、与薬に関して保護者からの質問に答えました。

(3) 食育

子どもたちと職員との共食共感をとても大切にしてきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策として、共に食せず、日常保育の中でも、子どもたちにとりもろこし、空豆などの皮むきを経験する機会を作ることが出来ませんでした。献立作成では和食の良さを、保護者の方に伝え理解して頂き、1歳児組も秋ころより楽しい雰囲気の中で食事をしました。献立作成では和食の良さを見直し、米飯中心の献立に取り組みました。

また、幼児クラスを中心に園庭の畑で、野菜の苗を植え、水やりの世話をしながら、野菜の生長を日々の楽しみにし、出来たものを味見し、子どもたちと、職員で収穫の喜びを味わいました。卒園のお祝いに、5歳児組のリクエストメニューがあがり、昼食をレストラン形式の新たな企画で特別なランチを楽しみました。栄養士より三大栄養素を学び、感謝の気持ちと食べることの喜びを味わった子どもたちの幸せそうな顔が印象的でした。

(4) 保育

新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、まずは子どもたちの命を優先に、日々の保育に取り組みました。その中で異年齢交流「えがおの日」は最初と最後の2回のみとなりましたが、日々の園庭での遊びを通して自然な交流を大切にし、きょうだい関係を通して他学年の仲間の名前を呼び合う姿や触れ合う姿がありました。運動会は幼児クラスが学年毎に行い、保護者にゆったりとわが子の成長を見て頂き、お楽しみ会は、幼児クラスが学年毎、劇ごっこ、楽器演奏と工夫を凝らして楽しむことができました。

◆主な行事の報告

- ①入園お祝い会 : 4月1日
- ②お泊まり保育(5歳児組) : 5月に予定していましたが、緊急事態宣言下のため延期しました。11月6日に、宿泊をせずに近隣の公園に出かけ、御岳山の天狗伝説をイメージしながら、宝探しをして、保育園で、お弁当を食べ、御岳山のビジターセンターから取り寄せた木の実でクラフト作りを行い午睡前には、パジャマショー行いました。
- ③秋まつり : 9月4日 保護者を招かずに、感染症対策、熱中症対策を行いながら、園舎内を利用し、御神輿を担ぎ、室内にお店を出して、秋まつりを盛り上げました。
- ④運動会 : 10月11日 5歳児のみ保護者を招き、間隔を取り着座し、観戦しました。
- ⑤遠足(幼児組) : 10月21日 3歳児 11月12日 4歳児

- ⑥お楽しみ会：12月11日 幼児クラス
- ⑦お楽しみパーティー：12月18日 にクリスマスランチを戴きました。午睡あけ、子どもたちは園庭に残されたサンタのそりの跡を発見、サンタから子どもたち一人一人に絵本のプレゼントがあり、大喜びでした。
- ⑧バイキング（5歳児組）：2月10日
- ⑨卒園お祝い会（5歳児組）：3月13日 全職員と5歳児組の保護者が参加しました。
- ⑩お別れ遠足（5歳児組）：3月18日

▲ 化学の日

年長組を対象に外部講師による《化学の日》を年9回設定しましたが、感染症拡大防止のため、年度の後半に3回実施しました。

2 職員

(1) 職員異動（2020年4月1日より2021年3月31日）

- ◆新規採用 保育士1名（4月1日付け）
- ◆新規採用 保育士1名（7月1日付け）
- ◆退職
 - 調理師 2名（3月31日付け）
 - 短時間勤務者2名（3月31日付け）

(2) 職員研修

4月	東京都社会福祉協議会保健部会	保健部会（中止）	1名
5月	東京都社会福祉協議会	春の研修会（2021年1月11日に延期）	1名
	東京都社会福祉協議会主任部会	主任部会（中止）	1名
	東京都社会福祉協議会保育士会	給食部会（中止）	1名
	東京都社会福祉協議会研究部会	研究部会（中止）	1名
11月	東社協保育士会年齢別学習会	感染症の状況を見て参加を判断	1名
	東社協保育士会主任部会	リモートにて参加	1名
1月	東社協保育士会	冬の研修（感染症の状況を見て参加を判断）	1名
	東社協保育士会保育部会	1歳児保育実践発表（リモート）	1名
	東社協保育士会主任部会	主任保育士の役割（リモート）	1名

3 保護者への働きかけ

保育は保護者と保育園の共育でとても大切です。保護者への働きかけとして、書面にて保護者会の内容を、より丁寧に保育に関しての説明を行いました。

保育参観、保育参加、一日保育士体験は行いませんでしたが、リモートワークの普及などで保護者の就労形態に変化が現れるなか、保護者の悩み相談は、いつでも応じられるよう常時窓口を設けました。また、入園希望見学者には、感染症対策を行い、園の外から9月に16組、10月に41組、11月に2組で計59組のご案内を行いました。

4 施設整備・備品購入

保育室用整理ダンスを乳児クラスに設置しました。

5 ヒヤリハット

高井戸保育園のヒヤリハットの報告は、19件でした。乳児クラスは9件、幼児クラスは3件、園庭等の共有部分では7件でした。緊急事態宣言開けの6月に5件、7月、8月はそれぞれ

2件、9月1件、11月2件、12月3件、1月1件、2月2件、3月1件でした。

19件のヒヤリハットの中で、内閣府のガイドラインに記されている重大事故に結ぶつきやすい4つの場面のうち、①睡眠中、②プール・水遊びは（コロナ対策で実施しなかったため）、共に報告はありませんでした。③誤嚥に繋がる可能性のあるものは、3件の報告がありました。手洗い石鹸用のポンプに顔を近づけたケースや、小石を口に入れようとしたケース等の報告が有り、見守りの確認を行いました。④食物アレルギーに関する場面では、パンを持ちながらの登園や、乳アレルギーの子どもがいるクラスで、こどもが牛乳のコップをお茶のコップを入れるかごに入れたケースや、水分補給のためのやかんの取り違いに気づくなどの3件の報告がありました。食品の持ち込みや食べながらの登園は昨年と同様の報告があり、引きつづき保護者へ協力をお願いをしました。その他は職員間で、点呼確認などの周知徹底を計りました。園庭のフェンスに巻き付いていた蛇や、遊具のタイヤの内側にいたイラガの幼虫を職員が園庭使用開始前の点検時に発見しました。

ヒヤリハットとしての報告件数は、57件ありましたが、その中には、既に行為が発生しているインシデントとして考えられるケースが12件、転んだけれど受診に至らなかったケースや、受傷に至ったケースが26件含まれており、行為が発生する前に気づいたケースは、57件中の19件でした。

6 第三者評価

2020年度は第三者評価の受審がありました。

利用者調査票の回収率は75,6%で、大変満足が全体の69%に達し、満足が26%で、両者を合わせると95%でした。「どちらとも言えない」が5%で、不満、大変不満はともに0%でした。

7 安全対策・災害対策

避難訓練実施状況

地震発生から、火災発生を想定した訓練を、月1回、年12回実施しました。

午前中3回、水遊び中1回、午睡明け1回、夕保育中2回、園外保育中1回、土曜保育中1回。午後1回、総合避難訓練1回、合図の周知訓練を1回。以上を実施しました。

8 新型コロナウイルス感染症についての対応

●新型コロナウイルス感染症対策

1. 感染状況

高井戸保育園での新型コロナウイルス感染症の感染状況は、園児及び保護者、職員の感染者は0名でした。

2. PCR検査

医療機関や保健所の判断による、新型コロナウイルス感染症のPCR検査対象者は、12月に1件、1月に12件、2月に5件、3月は1件で、計19件ありました。